

S&I NEWS LETTER

2022
WINTER | 03

WAN/LAN 環境の最適化が、企業の働き方改革を促進させる。

大容量通信 & マルチクラウド時代を 制覇するネットワークシステムへ！

BBIX 株式会社
佐々木 秀幸氏

エス・アンド・アイ株式会社
小川 敦弘

テレワークの浸透とグループウェアや基幹系システムなどのクラウド移行を背景に、企業のネットワークシステムに対する課題やニーズにも変化が起きています。

今回は、多くの企業が抱える課題を解決するネットワークシステムの在り方について、最近の動向と BBIX 様との取り組み事例を併せてご紹介します。

INDEX

1. テレワークの定着で高まるネットワーク高速化・広帯域化へのニーズ
2. S&I のネットワークソリューション
 - ① 東京都教育委員会様の事例を紹介！
GIGA スクール構想の推進で加速する教育現場への無線 LAN 環境構築ニーズへの対応
 - ② ネットワーク環境のクラウド運用で小売・流通業における現場 DX を推進！
3. マルチクラウドのニーズにも対応！
回線から環境構築までワンストップで提供可能にする BBIX 様との取り組み
4. H3C Digital Tour 2022 大阪に参加！総代理店としての S&I の強みとは？

1 | テレワークの定着で高まるネットワーク高速化・広帯域化へのニーズ

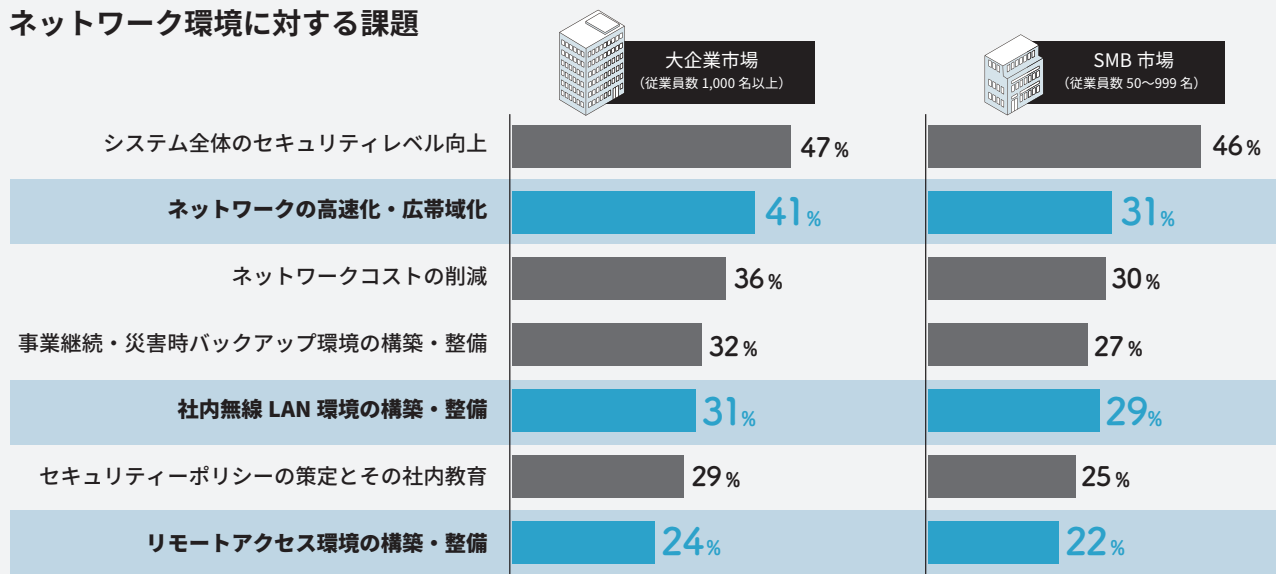
ガートナー・ジャパンの調査結果によると、テレワークにおける Web 会議システムの利用拡大を背景に、日本国内での SaaS の利用率は、2020 年の 31% から 2021 年は 39% へと一気に伸びていると言います。

実際、ネットワーク環境に対して企業が抱える課題として、「ネットワークの高速化・広帯域化」や「社内無線 LAN 環境の構築・整備」、「リモートアクセス環境の構築・整備」などが上位に挙げられており、SaaS の浸透と同時に、快適に業務にあたるネットワーク環境へのニーズが高まっていることが分かります。さらに、DX の推進により、グループウェア

や CRM などの情報系システムや基幹系システムなど、社内のあらゆるシステムを、PaaS/IaaS などを利用する企業が増えています。今後も、より一層、マルチクラウドへ安定かつ高速に接続できるネットワーク環境への需要が高い水準で維持されると言えるでしょう。

S&I では、こうしたニーズも踏まえ、官公庁や法人のお客さまを中心に、安定性、信頼性、安全性の高い快適なネットワーク環境の構築を、回線から LAN 内構築、運用支援までトータルでご支援しています。

ネットワーク環境に対する課題



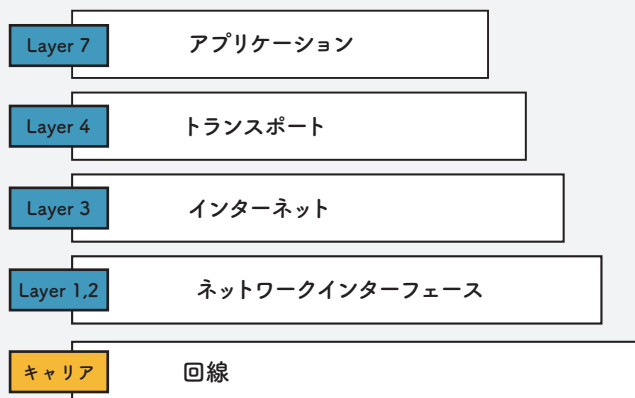
出典元：J.D. パワー 2022 年法人向けネットワークサービス顧客満足度調査SM

2 | S&I のネットワークソリューション

1987 年の設立以来、特定のメーカー機器に縛られずに最適なネットワーク環境を提供するとともに、課題やニーズを的確に把握し、上流工程を担えるスキルを持つ SE が 1 チームとなって、お客さまのご負担を最小限に抑えたプロジェクト進行をモットーとしています。(S&I のネットワークソリューションの取り組みについてはこちら：<https://sandi.jp/solution/network>)

マルチレイヤーに対応する S&I のネットワークソリューション

詳細はこちら：<https://sandi.jp/solution/network>



ロード バランサー	paloalto F5		UTM	Cisco	paloalto
				H3C	Fortinet
ルーター L3 スイッチ	Juniper	H3C	Firewall VPN	Juniper	paloalto
	Cisco			Cisco	Fortinet
L2 スイッチ・無線 LAN				H3C	PulseSecure
			Juniper	Cisco	H3C
BBIX			SoftBank		

① 東京都教育委員会様の事例を紹介！

GIGA スクール構想の推進で加速する教育現場への無線 LAN 環境構築ニーズへの対応

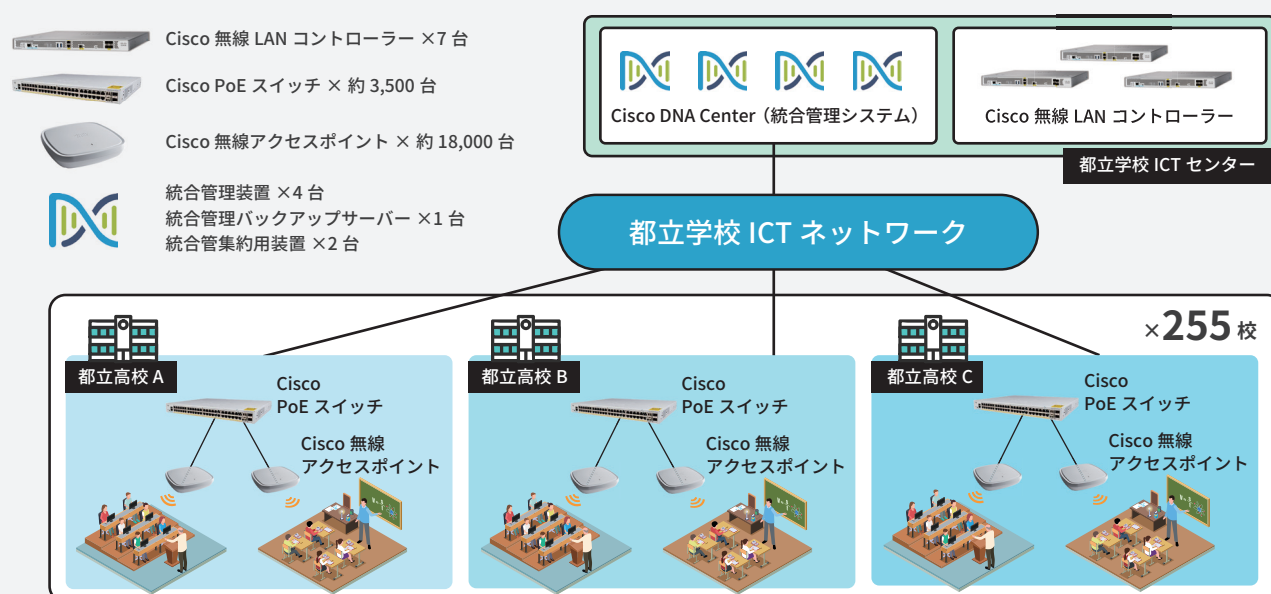
2019 年 12 月に GIGA スクール構想が閣議決定されたことを受け、全国の自治体、教育機関では、学校などへの ICT 環境の整備が急務となっています。1 人 1 台端末によるオンライン学習基盤の構築を目的に、S&I でも無線 LAN 環境の整備をご支援しています。特に、教育現場においては、生徒間での格差が生じないように、多様な生徒へ最適な学びの場を提供することが重要とされています。そのため、職員や生徒の私物端末（BYOD 端末）も安全かつ快適に接続できることも重要なポイントとなります。S&I でも、東京都教育委員会様における TOKYO スマート・スクール・プロジェクトの一環である、

「全都立学校 255 校を対象とした無線 LAN 環境の整備」を支援させていただきました。（東京都教育庁様の事例はこちら：<https://sandi.jp/casestudy/tokyo-kyoiku>）

また、2024 年度からデジタル教科書の本格導入が始まります。これまで以上に、ストレスなく、高速かつ安定した接続が可能なネットワーク環境が求められるようになります。S&I では、今後の長期にわたる運用まで見据えた構成のご提案・構築を通じて、ICT 教育の浸透を支援しています。

無線 LAN 環境構築事例：東京都教育委員会様

事例の詳細はこちら：<https://sandi.jp/casestudy/tokyo-kyoiku>



② ネットワーク環境のクラウド運用で小売・流通業における現場 DX を推進！

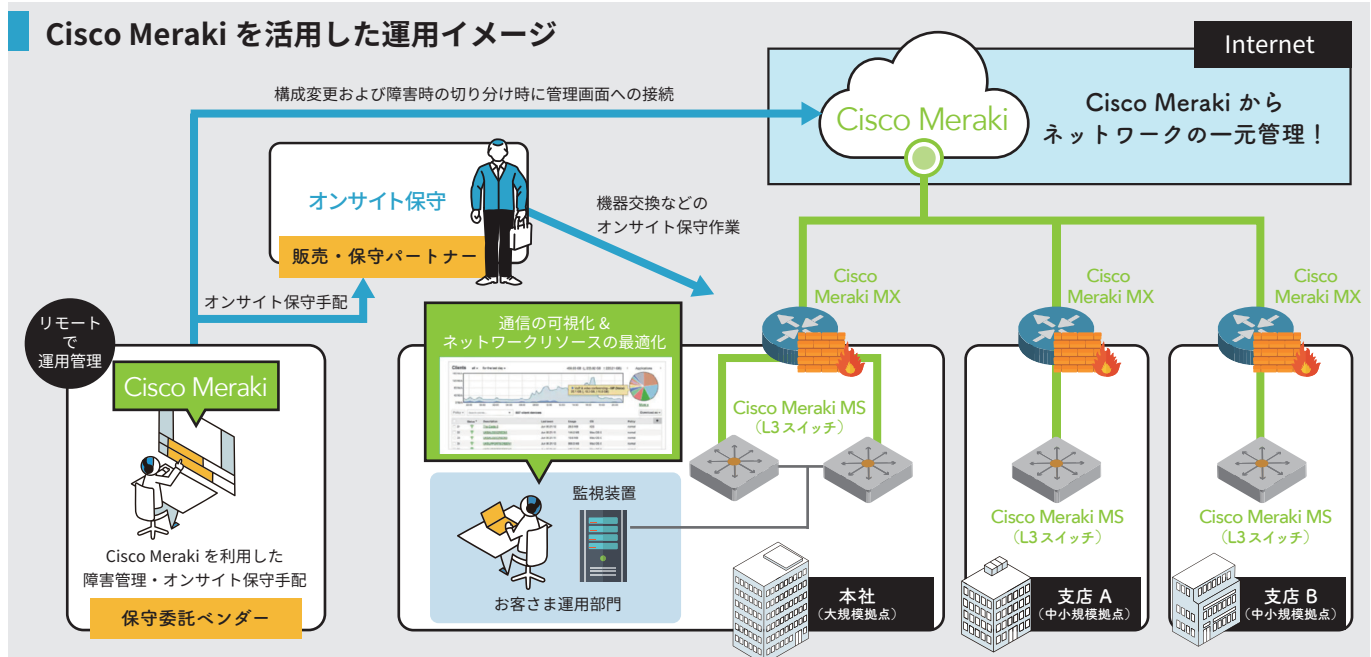
コロナ禍を背景に消費者行動も大きく変化し、小売業や飲食業などのリアル店舗の運営にも大きな影響を与えています。POS データや店舗カメラによる顧客行動の分析・活用などだけではなく、QR コード決済やセルフレジなど非接触型の店舗運営や、お客様へのフリー Wi-Fi 提供などのさらなる付加価値提供など、各店舗のデジタル化が加速しています。一方で、多店舗・多拠点を展開する場合、複雑化したネットワーク環境の運用管理への課題も増加しています。

こうしたニーズに適するソリューションとして注目されるのが、Cisco Meraki です。Cisco Meraki は、クラウド経由で複数のネットワーク機器を一元管理できるクラウド型管理ソリューションです。1 台からクラウドで管理でき、運用にかかるコストや人員を削減できる他、拠点の増減にも柔軟に対

応できるため、ビジネス成長に応じた運用管理が可能です。また、簡単かつ安全に無線 LAN に接続できる機能も提供されており、各拠点のデジタル化の推進や付加価値の提供による顧客との新たなつながりの構築にも貢献できるソリューションです。

S&I は、クラウド型ネットワーク管理ソリューション Cisco Meraki の構築支援を通じて、小売業や飲食業はもちろん、流通、教育など複数拠点を運営する企業の DX 推進をサポートします。

Cisco Meraki を活用した運用イメージ



3 | マルチクラウドのニーズにも対応！

回線から環境構築までワンストップで提供可能にする BBIX 様との取り組み

近年、SaaS 利用の増加など、企業のクラウドファーストが定着しつつある中で、ネットワークに対する企業の考え方、要望も大きく変わりつつあります。今回は、アジア No.1 インターネットエクスチェンジ（IX）事業者として、サービスを展開されているソフトバンクグループの BBIX 株式会社（以下、BBIX）より、プラットフォーム事業本部 本部長 佐々木 秀幸氏をお迎えし、S&I ネットワーク事業の責任者である小川 敦弘が、昨今求められるネットワークシステムへのニーズと、それに対応するための取り組みについてご紹介します。

S&I 小川：

最近、オンプレミスからクラウド移行への流れに加え、オフィスツールなどの SaaS 利用が主流に。そして、用途ごとに複数のクラウドサービスを利用する「マルチクラウド」へのニーズの高まりとともに、コロナ禍をキッカケにテレワークが一気に進んだことで、会社オフィス内や自宅を含めたさまざまな場所からも主要クラウドサービスが利用されるようになっています。

こうした背景もあり、これまでは単純に「接続できること」を目的としていたお客さまでも、大人数の生徒が教室に集まりオンライン教育を実施する学校やオフィスなど、人が集中する場所での大量の通信や、動画を含む学習教材やオンライン会議での音声や動画などのようなリアルタイム性の高い通信に対しても業務に支障をきたさない快適な接続環境を求めるようになっています。つまり、可能な限りボトルネックを排除し、お客さまの環境から SaaS 環境までの経路全体をいかに最適化できるかが、大きなポイントになっていると言えるでしょう。

S&I のお客さまでも、回線を含めてオフィスや学校などの LAN 内ネットワーク環境を一式で整備したいというご要望が非常に増えており、BBIX 様が今年の 5 月にリリースさ

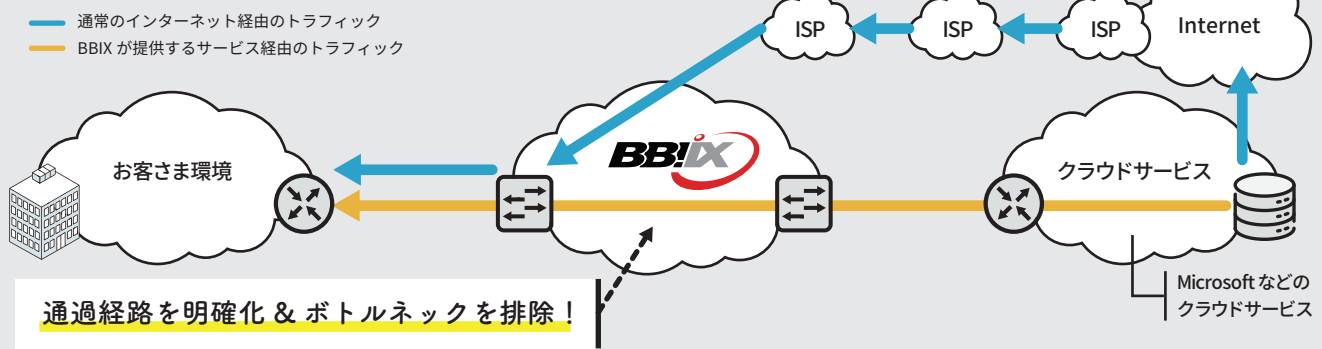


S&I 小川 敦弘

れた Open Connectivity eXchange（以下、OCX）を採用し、コストを抑えながら回線スピードの確保と WAN 回線の最適化を実現し、業務環境を向上される事例が出てきています。

OCX は、BBIX 様の IX プラットフォームを活用し、さまざまなクラウドサービスやデータセンターへオンデマンドで接続できるサービスです。企業規模によらず利用できるため、マルチクラウドへのニーズが高まる今、コストを抑えながら End to End 通信を行うネットワークシステムを最適化したいという企業様にとって非常にメリットのある仕組みです。

BBIX が提供する最短経路でクラウドに接続可能な理想的なネットワーク経路



BBIX 佐々木氏：

BBIX は、真のキャリアフリー IX 事業者として 2003 年に設立し、通信事業者、インターネット事業者、大手法人企業を対象に大容量通信を安価に提供できる仕組みを展開しています。

OCX の仕組みは、世の中がオンプレからクラウドに転換し、より大容量の通信が求められている中で、大容量通信基盤＋ソフトウェアというコンセプトを元にクラウドネイティブな通信基盤を作りたいという想いで開発したサービスです。ユーザーは、専用ポータルサイト上の管理画面から操作するだけで、さまざまなクラウドサービスやデータセンターへ、高セキュリティかつ低遅延で接続できるようになります。

OCX の強みは、当社の IX 基盤にあります。そして、当社の IX 基盤の最大の強みは、日本最大級のインターネットバックボーンから直接クラウドに接続できる点にあります。

最近では、最大速度 1Gbps とうたうサービスも多くありますが、実際に使うと、「なんか遅いな、スマホより遅いんじゃない？」という経験をされたことのある方もいらっしゃると思います。実は、最大速度はあくまでも理論値であって、実際にその速度が出せるかどうかは保証されていません。十分な通信速度で、ストレスなく利用するためには、バックボーンネットワークのキャパシティが重要になってきます。BBIX のサービスは、コンシューマー向けサービスを展開するソフトバンクのバックボーンにも採用されており、国内最大級の容量を持っておりますので、通信速度を担保しながら、マルチクラウド接続などへのニーズにも対応できる最適化された WAN 環境の提供が可能です。

当社はこれまで、通信事業者やインターネット事業者、大手法人企業を主なターゲットとしておりましたが、OCX は、業種や規模を問わず、全ての企業様でご利用いただけるサービスです。機器の購入や維持管理の必要がなくなり、購入コストや維持管理コストを削減できるなど運用面でのメリットも



BBIX 佐々木 秀幸氏

大きく、情シス担当のリソースが限られている場合でも安心してお使いいただけます。

今後は、SaaS などへの接続も拡充していく予定で、DX を推進するための機能をワンストップで提供できるようになることを目指して開発を続けています。

S&I 小川

BBIX 様は、急速に変化する時代のニーズを見据え、来るべき 5G・IoT・IPv6 時代に向けて、最新のテクノロジーを駆使し、より大きな付加価値を提供し続けていらっしゃいます。

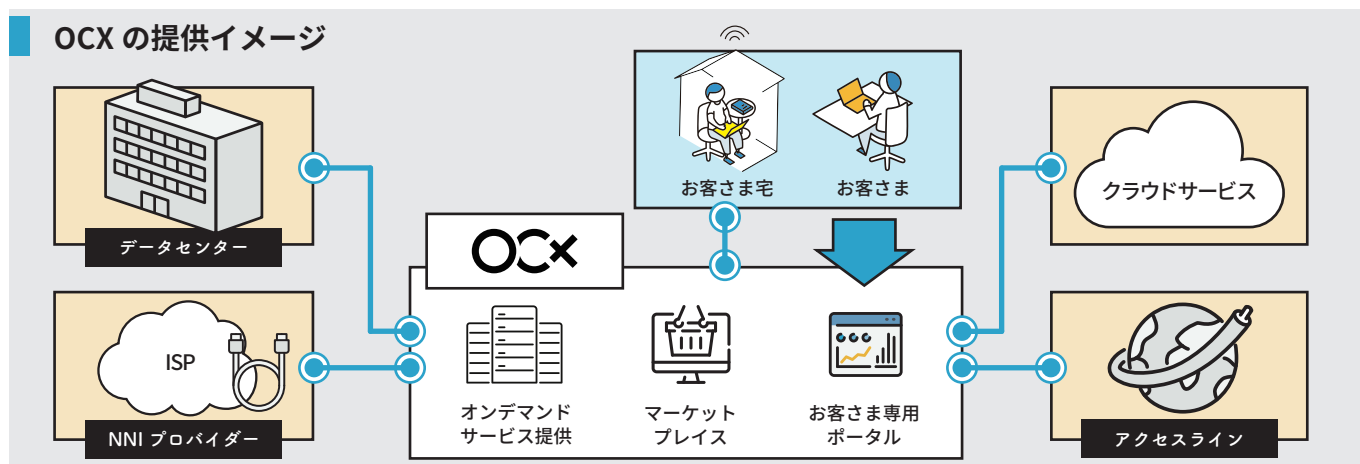
一方で、S&I は、設立以来法人のお客さまを中心にさまざまなネットワーク環境の構築実績を積んで参りましたが、最近では特に公共系・教育系のネットワーク環境の構築に力を入れています。WAN 環境を最適化する仕組みを持つ BBIX 様とは、ソフトバンクという共通点をキッカケに協業させていただく機会が生まれたのですが、両者の強みやノウハウを生かせるビジネスパートナーとして、目まぐるしく変わる顧客ニーズに対応できる体制と一緒に作らせていただいています。

S&I では、回線障害は切り分けが難しく、LAN 内を含めて一式任せたいというニーズも増えているため、BBIX 様の

ご支援をいただきながら、回線～ネットワーク環境の構築・運用までトータルでご提供させていただいています。今後、コストを抑えながら、さまざまなクラウドサービスに快適に接続できる OCX という付加価値の高い仕組みは、あらゆる企業様からご相談を頂く機会が増えてくると考えています。

す。BBIX 様の IX サービスの最大の特長である主要クラウドとのピアリングに加え、国内でも最大級の大容量バックボーンによる心地よい通信環境と合わせて、将来ネットワークシステムを見直す際のご参考にいただければと思います。

OCX の提供イメージ



4 H3C Digital Tour 2022 大阪に参加！総代理店としての S&I の強みとは？

2022年10月20日、コンラッド大阪で「H3C Digital Tour 2022 大阪」が開催されました。H3C のクライアントやパートナーが参加するイベントで、大阪では初めての開催となります。H3C の製品は、ルーターやスイッチ、アクセスポイントなど複数レイヤーにまたがる製品を取り揃えており、高品質にもかかわらず、他社製品と比べて投資も抑制できる価格設定が特長です。また、非常にスピーディーな納期に対応しており、S&I は、2021 年より総代理店として多くのお客さまに提供しています。

今回は、S&I を含む H3C の総代理店 3 社から各社の特長や強みを紹介させていただくことに。S&I からは、常務執行役員の山口徹がお話しさせていただきました。

総代理店としての S&I の強みとは？

S&I の強みは、大きく 3 つあります。

1 つ目は、設立以来ネットワーク領域を主力ビジネスとして展開し続けることで培ってきた経験とノウハウです。現在は、高いスキルと経験豊富なネットワークエンジニアが多数在籍し、安心してお任せいただける体制があります。

2 つ目は、セールスとエンジニアが 1 チームで導入をご支援できる体制が整っていることです。H3C ビジネスを推進する主管部門を配置し、お客さまからのお問い合わせに対してスピーディーに回答・価格提示をするとともに、ご要件に応じた最適な構成のご提案が可能です。販売だけではなく、セールスとエンジニアが密に連携し、お客さまが抱える課題をヒ



H3C Digital Tour 2022 大阪の様子

アリングしながら最適な環境の構築・運用を支援させていただきます。

そして、3 つ目は、ネットワーク機器のご提案・構築だけではなく、ファシリティやネットワーク環境、サーバー環境を含めたインフラ全体の構築・運用支援まで、トータルでご提供できることです。構築はもちろん、日々の運用負担を最小限に抑えられる仕組みと体制をご提案しています。

これまでに、某国立医療センター様における全病棟・全フロアの無線 LAN 環境構築や、某公共機関様の施設全フロアネットワーク環境の構築など、導入実績も増えてきました。今後も、H3C が掲げる納期やコスト面での優位性、そして H3C 社とのビジネススキームに加え、35 年間で培った技術力でさまざまな角度からご支援できるよう邁進してまいります。

H3C ソリューションについて：<https://sandi.jp/solution/network/h3c>